作成年月日　2003年 7月24日
改訂年月日　2025年 4月21日

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会　社	ホーザン株式会社
	住　所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
製品番号	H-728	
製品名	フラックス	
推奨用途	ハンダ付け用	
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと	

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、全身毒性)
		区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(呼吸器系、肝臓、脾臓)
環境に対する有害性	水性環境有害性 短期(急性)	区分2
	水性環境有害性 長期(慢性)	区分2

注:上記に記載されていない項目は、[区分に該当しない]又は[分類できない]のいずれかを示す。

GHSラベル要素

絵表示：

注意喚起語：危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害(中枢神経系、全身毒性)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器系、肝臓、脾臓))
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策　：全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合 ： 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
吸入した場合 ： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合 ： 水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合 ： 医師に連絡すること。
医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ）。
眼の刺激が続く場合 ： 医師の診察／手当てを受けること。
火災の場合 ：
消火するために適切な消火剤（粉末、炭酸ガス、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤）を使用すること。
漏出物を回収すること。

保管　：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄　：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名	含有量（mass%）	官報公示整理番号 化審法／安衛法	CAS No.
フェノール系樹脂	4.5～5.5	―	非開示
アジピン酸	1.5～2.5	(2)-858/―	124-04-9
イソプロピルアルコール	92.0～94.0	(2)-207/ 2-(8)-319	67-63-0
その他	0.1以下	―	非開示

注：労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

4. 応急措置

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合　：直ちに吐出し、その後必要に応じて医師の手当てを受けること。

注意事項　：いずれの場合でも、その症状により直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　：粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂、泡、水噴霧

使ってはならない消火剤　：棒状注水

火災時の特有の危険有害性
：火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法　：消火作業は風上から行う。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置
：消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：推奨される個人用保護具を着用する。
詳細については、第8項の「ばく露制御／個人保護」を参照。
関係者以外の立入を禁止する。
可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。
エリアを換気する。

環境に対する注意事項　：下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
漏出物を回収すること。
廃棄するため、塵取りで清掃するか取り除き、密封された容器に入れる。

二次災害の防止策　：付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項　：推奨用途以外で使用しないこと。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
作業場の換気を十分おこなうこと。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
指定された個人保護具を使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は手、前腕及び顔をよく洗うこと。

接触回避　：『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

安全な保管条件　：酸化剤から離して保管する。
直射日光を避け、換気の良い涼しい場所に保管すること。

安全な容器包装材料　：包装、容器の規制はないが露出等を防ぐために破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
アジピン酸	未設定	―	TLV-TWA:5mg／m^3
イソプロピルアルコール	200ppm	【最大許容濃度】 400ppm 、980mg/m^3	TLV-TWA:200ppm TLV-STEL:400ppm

設備対策　：局所排気又は室内全体の換気を行う。
ばく露のリスクのある場所の近くに、緊急用洗顔水飲み場と安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸器保護具　：状況に応じた適切な呼吸用保護具を着用する。
高濃度の化学物質を取り扱う場合は、送気マスクの装着を検討する。
作業者がガスや蒸気にばく露される場合は呼吸用保護具（防毒マスク 等）の着用を検討する。

手の保護具　：保護手袋（不浸透性の材料のもの）

眼の保護具　：保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具：保護服、保護長靴、保護前掛け、保護面（防災面）

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 淡黄色
臭い	： データなし
融点／凝固点	： データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	： 82.3℃以上
可燃性	： 可燃性物質含有
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	： データなし
引火点	： 12℃（タグ密閉式）
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
pH	： データなし
動粘性率	： データなし
溶解度	： データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)	： データなし
蒸気圧	： データなし
密度及び／又は相対密度	： 0.801(20℃)
相対ガス密度	： データなし
粒子特性	： データなし
その他のデータ	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	： データなし
化学的安定性	： 室温・空気中では安定
危険有害反応可能性	： 引火性液体
避けるべき条件	： 高温、日光
混触危険物質	： 強酸化剤
危険有害な分解生成物	： データなし

11. 有害性情報

急性毒性	： 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	： 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： GHS分類に基づく
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 分類できない
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 分類できない
生殖毒性	： GHS分類に基づく
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： GHS分類に基づく
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 分類できない
誤えん有害性	： データなし

12. 環境影響情報

生態毒性　：GHS分類に基づく
残留性・分解性　：データなし
生態蓄積性　：データなし
土壌中の移動性　：データなし
オゾン層への有害性　：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装　：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制　：海上輸送はIMDG規則、及び航空輸送はIATAに従う。

海外規制情報

UN No.　：1866
Proper shipping name
：RESIN SOLUTION flammable
Class　：3
Packing group　：Ⅱ

航空規制情報

UN No.　：1866
Proper shipping name
：RESIN SOLUTION flammable
Class　：3
Packing group　：Ⅱ

国内規制

陸上規制情報　：消防法、道路法の規定に従う。
海上規制情報　：船舶安全法の規定に従う。
UN No.　：1866
品名（国連輸送名）　：樹脂液
クラス　：3
容器等級　：Ⅱ
航空規制情報　：航空法の規定に従う。
UN No.　：1866
品名（国連輸送名）　：樹脂液
クラス　：3
容器等級　：Ⅱ
緊急時応急措置指針番号：127

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

：引火性液体なので、「火気厳禁」。
輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れが無いように積込む。
荷くずれ防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
乱暴に扱わない。

---

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

：該当しない

労働安全衛生法　：名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
アジピン酸（含有量:1.5 － 2.5%）
イソプロピルアルコール（含有量:92.0 － 94.0%）
注:労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。
特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第22条第1項)
第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)
作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
イソプロピルアルコール

毒劇法　：該当しない

消防法　：第四類引火性液体、アルコール類(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)
イソプロピルアルコール

---

16. その他の情報

参考文献

ExESS ：株式会社江守情報
JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法 ：(財)日本規格協会
JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ：(財)日本規格協会
NITE化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)
CAS RN® ：米国 CAS (Chemical Abstracts Service)

その他

記載内容は、現時点での情報に基づいて作成されていますが、全ての情報を網羅しているわけではありません。
本SDSは情報提供を目的としており、いかなる保証、担保をなすものではありません。
注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には用途荷応じた安全対策を実施してください。